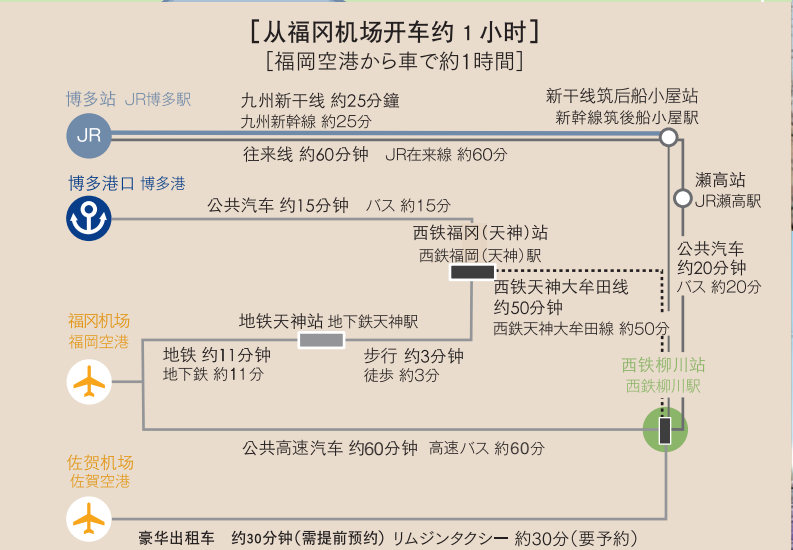




柳川市

- 柳川市観光課
〒832-8601 福岡県柳川市本町87番地1
電話: 0944-73-8111 / FAX: 0944-73-2516
(URL) <https://www.city.yanagawa.fukuoka.jp/>
- 柳川市観光资讯网
〒832-0065 福岡県柳川市冲端町35番地
電話: 0944-74-0891 / FAX: 0944-72-9013
(URL) <http://www.yanagawa-net.com/>

1月25日
白秋誕生祭
島田天満宮大型祭祀活动
2月中旬~下旬
柳川运河疏通仪式
梅花街道
2月中旬~4月3日
女儿节・吊饰偶人巡游 1
女儿节水上盛装游行 1
2月中旬
田中吉政公表彰活动
3月
矢部川の油菜花
3月下旬~4月上旬
三柱神社櫻花节
柳川城遠遊、
舟天的櫻花道路等
最佳观赏日期 2



4月~10月	体验釣大弹涂鱼、 体验蜘蛛手网捕魚 3
4月3日	流華活动
4月中旬~下旬	中山大藤(紫藤)祭 4
5月下旬~6月上旬	水蓼蒲 5
5月3日~5日	水天宫祭 6



7月中旬	鯉魚供養祭
7月中旬~8月上旬	向日葵祭 7
7月中旬~9月下旬	納涼船
7月第4个星期六	中島祈國祭 8
8月上旬	盛夏水文化节 水!水!水!
7月~8月	巨峰葡萄上市季节 9
8月~11月	无花果上市季节
8月~10月满月	柳川清流泛舟赏月活动



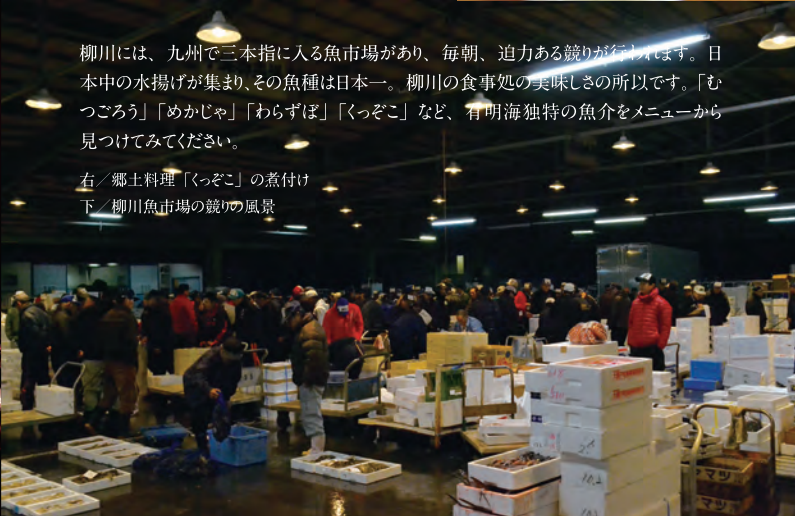
柳川的一年四季
春夏秋冬，沉浸在花海与热节气氛中的柳川。
请感受这炫丽的色彩。

10月上旬	三柱神社秋季大祭 (ONIGIE・DOROTSUKUDON) 10
11月1日~3日	白秋祭 11
11月初旬	云龙少年相扑大会 山王菊花展 紫菜采摘游 红叶 冬天带有 被炒的船

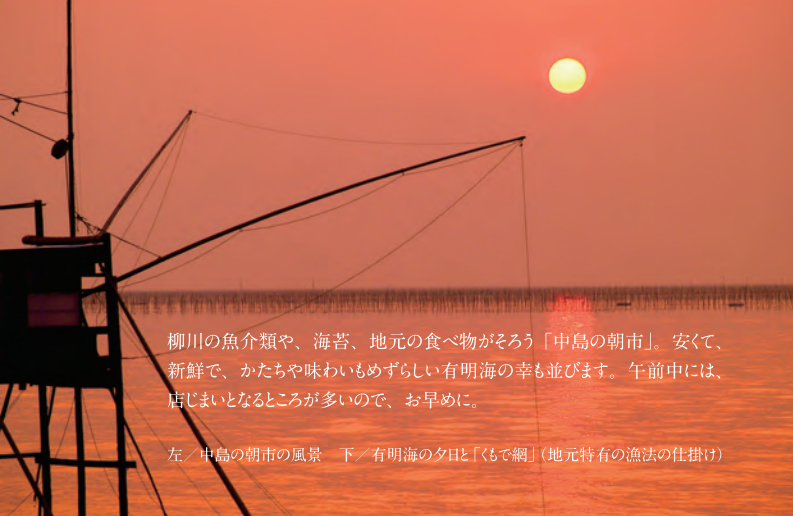


尝一尝美味可口的鳗鱼饭
柳川代表性的本地菜之一就是这「蒸鳗」鳗鱼饭了。在和着咸中带甜的酱汁的白米饭上，放上烘烤好的鳗鱼搁在蒸笼内蒸一下，市内有二十几家鳗鱼餐厅，这道传统美味料理吸引了众多游客。

日本国内鱼类品种最多的柳川水产品交易市场
柳川市内九州地区首屈一指的大规模水产品交易市场，每天清早在这里可以看到热闹的交易活动。日本各地上岸的水产海鲜品集中这里，其中鱼的种类可数日本第一。这就是为什么柳川的餐饮店都是如此可口地道的原因了。游客们不妨在菜单中找一下「花雨」、「海豆芽」、「雷氏蛭鰩虎」、「鰯目鱼」等有明海的特产海鲜，品尝一下哟。
右图 / 本地菜红烧「鰯目鱼」
下图 / 柳川交易市场的竞拍景象



便宜、新鲜、有趣的 中島早市
摆满了柳川的水产品、紫菜、当地食品的「中島早市」，东西是又便宜又新鲜，形状奇妙口味绝美的有明海特有的海鲜食品也是琳琅满目。到了中午，很多店铺都会售空关门，因此要去的话还得早。
左面 / 中島早市的景象
下面 / 有明海的夕阳与「蜘蛛手网」(当地特有的一种捕鱼法)



朱舜水与安东省菴的超越国界的心灵交流
明代末流亡到日本的知识分子朱舜水是水戸藩主德川光圀的老师，在中日交流史上留下了其足迹。柳川藩的儒家学者安东省菴一直坚持把自己的一半俸禄寄到朱舜水流亡的长崎并支持其活动同时也向他学习。舜水到柳川时为感谢安东省菴的愿意送给他一座孔子像。现在这座孔子像由传习馆高中继承，将两人的心灵交流传达至今。
明代末に日本に亡命した知識人、朱舜水は、水戸藩主徳川光圀の師となり日中の文化交流に足跡を残した人物です。その亡命先の長崎に俸禄の半分を送り続け、支援し師事したのが柳川藩の儒学者安東省菴。舜水は柳川に立ち寄った際に芳情を感謝し、孔子像を省菴に贈りました。伝習館高校に今も大切に受け継がれ、その心の交流を今に伝えています。



资源丰富的有明海和铭刻着千年历史的干拓地
拥有最高达六米的日本最大的潮汐差的有明海，干潮时候会出现一片广阔的干泻。祖先们从中世纪开始就利用了这个被称为「潮汐水道」的水路，到了江户时代(1603年至1867年)，为发展「干拓事业」人为地埋没了这个干泻区域，扩大了耕地面积。如今的柳川景象，是当地人民 1000 多年来与自然协和共存的结果。隔着海岸边大片的紫菜养殖场可以观赏到美丽的有明海夕阳光色。
最大6メートルという日本一の干満差がある有明海は、干潮になると広大な干潟が現れます。祖先たちは、中世の時代から、この湿地を「クレーク」という水路を巡らせながら利用してきました。さらに、江戸時代(1603年～1867年)になると、この干潟を人力による「干拓事業」によって埋立て、広大な耕地を得ました。今の柳川の風景は、1000年以上にわたる、先人の生きてきた証。その海岸からは、海苔養殖場広がる美しい有明海の夕景を見ることができます。
広がる干拓地。【新柳川明証図全】(撮影 熊本文化)



奇的柳川特产
能让人感受到日本传统手工技巧的各种手工制作的特产礼品。
柳川鞠(绣球吊饰) 做成菊花、茶花、花菖蒲等各种形式的绣球的柳川鞠，是将一根根丝线用手工缝制而成的精美工艺品。
柳川风筝 一种新年元月能带来好运的民间工艺品，大多是以日本童话中的英雄人物坂田金时(金太郎)为主题的。作品。
花草垫 用染成各色的稻草编制的色彩缤纷的垫子(草垫=日本榻榻米表面的草席)。





来吧，走出家门 去水乡「清流泛舟」

「清流泛舟」，是乘坐小木舟巡游以前的护城河（江戸時代の柳川城周囲）の柳川特有的传统游艺活动。整个游程中可以观赏两岸的樱花、菖蒲、红叶等四季的花草树木。穿过狭窄的水门，听船老大哼着当地的小曲。坐在船上不由地令人忘却时间的流逝。全程约 70 分钟，没有预约也可以乘船。如果事先预约的话，还可以在船上品尝蒸鳗鱼等当地风味小吃。

「川下り」とは、昔ながらの掘割（江戸時代の柳川城のまわり）を「どんこ舟」にゆられながら巡っていくという、柳川ならではの歴史ある舟遊びです。コース沿いは、桜や菖蒲、紅葉と四季折々に彩られ、狭い水門をくぐったり、船頭さんの歌に耳を傾けたり、そのゆったりとした水の流れに、思わず時間を忘れてしまうほど。コースは約 70 分、予約なしで乗船できます。また、事前の予約があれば、郷土料理の鯉の蒸鳗蒸しなど舟の上でお食事も楽しめます。



1 从空中眺望清流泛舟 / 2 深受外国游客欢迎的清流泛舟活动。 / 3 被称为「并仓」的味噌酱作坊建筑是清流泛舟途中的一个景点。 / 4 冬天的被炉（炕座上覆盖一条被子的日本传统的取暖形式）小木舟。

1 空から見た川下りの風景（『新柳川明証図会』撮影 橋本文夫） / 2 外国人の観光客にも人気の川下り。 / 3 「並倉」と呼ばれる、川下り名所の味噌蔵。 / 4 冬のこたつ舟。



立花家は、江戸時代元和 6 年（1620 年）から明治 4 年（1871 年）まで、この地を治めた大名家です。「御花」の歴史は、元文 3 年（1738 年）、柳川藩五代藩主、立花貞胤が柳川城の南西隅にあたる、御花宿と呼ばれていたこの地に別邸を築いたことに始まります。立花家史料館には、甲冑や日本の伝統美をたたえた遊び道具などの貴重な所蔵品が公開され、日本でも数少ない、大名文化を今に伝える場所として多くの人が訪れます。「松涛園」は、明治 43 年（1910 年）に十四代立花寛治伯爵によって築かれた庭園で、園内には約 280 本のクマツヅク、庭石 1500 個、石灯籠 14 基があり、池庭に大小の岩島を配して大海をあらわした優美な名園として、昭和 53 年（1978 年）には国の名勝に指定されています。



「御花」和「松涛园」 观赏感受日本风情的场所

立花家は江戸時代元和 6 年（1620 年）から明治 4 年（1871 年）为止、统治这块领地的大名家。「御花」は元文 3 年（1738 年）由柳川藩五代藩主立花貞胤在柳川城の西南角被称为御花園的地方建筑的一个别墅。在立花家史料馆中陈列展示着盔甲、精美的日本传统游戏道具等珍贵藏品，这里是日本国内为数不多的传承大名文化的场所，每年都有大批游客来此参观。「松涛園」は明治 43 年由立花家第十四代立花寛治伯爵建造的一个庭園。園内有 280 棵黑松、庭園石 1500 个、石灯笼 14 座，園内池塘中配置大小岩石岛屿，如若大海中的自然风光，景致优美，为日本著名的庭園建筑，昭和 53 年（1978 年）被指定为国家名胜。

5 松涛园全景 / 6 立花家珍贵的收藏品（立花家史料館） / 7 第一代柳川藩主立花宗茂肖像 / 8 明治 43 年（1910 年）作为立花家的迎宾馆建造的西洋馆 / 9 立花忠茂使用的头盔 / 6 陈列着 10 400 多年来代代相传的珍藏品的立花家史料馆

5 松涛園の全景 / 6 立花家の貴重な伝来品（立花家史料館） / 7 初代柳川藩主、立花宗茂肖像 / 8 明治 43 年（1910 年）に立花家の迎賓館として建てられた西洋館 / 9 立花忠茂着用の兜 / 10 400 年をわたって連続と受け継がれた伝来品が公開されている立花家史料館



春天，吊饰点缀了 整个柳川街头

日本传统的风俗习惯，女孩出生后为庆祝第一个女儿节的到来，都会摆设娃娃台等装饰以祈求孩子的健康成长。在柳川，除了娃娃台以外，还有市挂各种色彩鲜艳的「吊饰」的习惯。为了让来访的人们也能享乐其中，自然地形成了这个互访参观的「吊饰巡游」形式了。所有的吊饰中都包含着父母祈求自己的女儿能长得更漂亮、更坚强、更有教养的一片爱心。每年 2 月 11 日至 4 月 3 日，整个街头被吊饰装扮得绚烂多彩。

日本では、昔から女の子が生まれた最初の日のお祝い「初節句」に、子どもの無事な成長を願ってひな人形を飾る風習があります。柳川では、さらにそのひな壇のまわりに、色とりどりの「さげもん」を飾る慣わしがありますが、それを訪れた人びともに見え楽しんでもらうというのが「さげもんめぐり」の始まりです。女性としての美しさ、強さ、誇りなどを身に付けて欲しいという親心が、その飾りひとつひとつに込められています。毎年、2 月 11 日～4 月 3 日、まちは「さげもん」で彩られます。



浸泡温泉享乐其中

柳川の天然温泉，多为碳酸氢钠氯化物温泉，据说对神经痛、肌肉酸痛、恢复疲劳等都有一定的效果。柳川温泉「南風（HAENKAZE）」、「KANPO 之宿柳川」等都可以入浴，在「构橘文人之汤」可以尝试浸泡免费的「足汤」。

柳川には天然温泉が湧出し、泉質は、ナトリウム-炭酸水素塩・塩化物泉で、神経痛、筋肉痛、疲労回復などに効果があります。



② 柳川旅游问讯处

收集有各种柳川旅游信息的「柳川旅游问讯处」，介绍所在地的冲之端一带，是一片城邑街头景色。

http://www.yanagawa-net.com/
柳川市冲端町 35 番地
TEL (0944)74-0891
FAX (0944)72-9013

左图 / 柳川温泉「南風（HAENKAZE）」
右图 / 柳川旅游问讯处
左 / 柳川温泉 南風
右 / 柳川観光案内所



武士豪宅 「旧戸島家住宅」

在城内西边地区的鬼堂町一角，坐落着旧柳川藩士作为隐居后的住宅建造的数寄屋风格的茅草屋顶宅。据说建于宽政年间（1789 年至 1800 年），引入护城河河水的池塘庭园被指定为国家名胜庭园，整个空间幽雅别致。建筑内到处显示着江戸时代的风尚情趣，雕刻着李白的「月下独酌」的大门等，文学趣味浓厚。这里会不定期地举办茶会，在先人们曾坐过的地方大家相会一起喝上一杯抹茶互相切磋交流，别有一番情趣。

城内地区の西の端、鬼堂町の一隅に、旧柳川藩士の隠居後の住宅として建てられた数寄屋風の意匠を持つ茅葺屋根の建物で、寛政年間（1789 年～1800 年）築と伝えられています。掘割から水を引き入れた池を持つ国の名勝庭園とともに、趣のある空間を形成しています。内部には、江戸時代の流行が随所にといわれ、李白の漢詩「獨酌」が彫られた戸など、文人趣味の意匠が多くみられます。地元のグループが抹茶の会をしている期間があり、先人たちが語り合った座敷でいただく一服のお茶は、格別なものがあります。



日本人无比钟爱的 诗人北原白秋 他的诗歌的孕育地柳川

在日本提到北原白秋（1885 年至 1942 年），没有人不知道他以及他的诗词。日本当代著名的诗人、童谣作家、歌人。在他激荡的一生中，作出了「构橘花」、「待君久不至」等至今仍为大家歌唱的经久不衰的童谣名作。北原白秋也是第一个将「鵝媽媽」翻译介绍到日本的作家。北原在他的遗稿中写到「柳川，我诗歌的孕育地」。如今，通过保存运动北原白秋故居得以保存，纪念馆中陈列了许多北原的景笔原稿以及北原的所有物等珍贵的展品，前来参观访问的游客络绎不绝。

北原白秋（1885 年～1942 年）は日本人であれば、誰もが知る詩人であり、童謡作家であり、歌人です。波乱に富んだ生涯でありながら、「からたちの花」、「待ちぼうけ」など、今でも歌い継がれている童謡など、世代を超えて愛される名作を数多く残し、日本で初めて「マザー・グース」を翻訳して紹介したことも知られています。遺稿の中で、「この私の母體柳川」と記したほど白秋の表現にとって故郷柳川の存在は大きなものでした。今は、保存運動によって奇跡的に守られた生家が残り、直筆の原稿や所持品など貴重な品が数多く展示された記念館とともに、多くの人が訪れる場所となっています。



左图 / 旧戸島家住宅
上 / 北原白秋纪念馆
左 / 旧戸島家住宅
上 / 北原白秋纪念馆